

## 歯みがき剤の品質、確認してますか？

海外製の輸入歯みがき剤、輸出向けの歯みがき剤についてBOKENで実施している品質試験をご紹介します。歯みがき剤は化粧品、医薬部外品(薬用歯みがき)があり、剤型はペースト状、液状、液体、粉体、潤製及び固形の歯みがき、洗口液と様々です。輸入品の品質試験から、薬用歯磨きの有効成分定量、仕向け地の要求試験まで、皆様のご要望にお応えします。

### 輸入 歯みがき剤の品質試験(推奨項目)

表1	試験項目	試験方法
	ホルムアルデヒド	HPLC-PDA法
	メタノール	GC-MS法
	金属(ヒ素、鉛、カドミウム、水銀)	ICP-MS法
	生菌数(細菌、真菌)	平板混釈法
	ジエチレングルコール(DEG)	GC-MS法

口に入れるものだから、  
安心できるものがいいわ!



### 国産・輸出 歯みがき剤の品質試験(推奨項目)

- ☑ 表1の成分について、仕向け地で要求される項目
- ☑ 薬用歯みがき類製造(輸入)販売承認申請基準の「規格及び試験方法」
  - ▶ 双方打合せ後、BOKENにて試験計画書を作成し、お互い合意の下、試験を進めます。
- ☑ 殺菌効力試験
  - ミュータンス(虫歯菌)、ジンジバリス(歯周病菌)を用いて、30秒、1分、3分(変更可)経過後の生菌数を測定します。それぞれの写真が必要な場合は撮影します。
- ☑ EU香料アレルゲン物質26成分
  - EU(ASEAN)輸出時に求められる香料アレルゲン物質26成分についても全成分に対応しております。

ボーケンでは、  
化粧品基準に対応した  
・レギュレーション分析  
・微生物限度試験  
・チャレンジテスト  
・安定性試験  
・異物分析 等  
各種薬事分析・試験に  
対応しております!



### 参考情報

歯みがき剤の輸出数量、輸出金額とも2021年に過去最高(全国:1万2,975トン(100億円)、近畿圏:4,123トン(28億円))を記録しています。2022年1月から8月においては前年同期比では数量は減少しているものの、金額は増加しています。

2022年1月から8月における経済圏別構成比をみると、近畿圏は第2位(1位は首都圏)となっており、数量・金額ともに全体の約3割を占めています。近畿圏からの輸出について仕向け地別推移によると、アジア諸国への輸出が全体の9割以上を占めており、特に中国への輸出が数量・金額ともに2014年以降増加しています。

歯みがきの輸出増加の要因として、海外からのインバウンド効果による日本製歯みがきへの高い評価のほか、新型コロナウイルスの流行による衛生コンセプト品の世界的な需要増加なども背景として挙げられます。

(引用:大阪税関貿易統計より)



上記試験以外にも各種試験を受託しております。  
社内試験の外注をご検討であれば是非お問合せください。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。